

「どう生きるか」から考えるACP

▶▶16

子ども一人に介護を背負わせては…

安心の老後のために 社会保障の今後

日本でも少子高齢化が加速していますが、中国では30年前から始まった一人っ子世代が、高齢の親の面倒をみる時代が本格的に到来しています。介護保険制度の遅れなどから、親の介護のために仕事ができなくなつて収入を失うことも。都市部よりも地方では追い詰められて、悲惨な事件も起こっているようです。

T (Tigra) : 昨日、お通夜に行つてたんだって？

T子 : お世話になつていた方が亡くなり、そのお子さんがおひとり、ご結婚されていなかったんです。お手伝いに行つていました。

T : 中国も一人っ子政策・高齢化でのしかかる介護の負担って、報道

番組あつたけど…。おい

T子 : 母と二つ違いだから、96歳かな？

T : そっか、未婚の一人っ子は男性に多いみたいだよ。

T子 : 息子さんも、お母さまを一年ぐらい前に亡くされて、今回、お父さまをお看取りになつたら、大変だつたと思う。

T : そうなんだ。郷里を離れ、ご高齢だと、親戚にもなかなか頼れないこともあるしね。

T子 : 一週間前までは、お父さまがご自身のことはされていたみたいけど、ここ2、3日は調子が悪くて、

ACP (Advance Care Planning)

将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて、本人を主体に、そのご家族や近しい人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、本人による意思決定を支援するプロセスのこと。

10月17日、11月14日に職責者を対象に、みみはらホールにて「ハラスメント学習会」を開催しました。

昨日、コロナ禍において、集合研修が難しくかつたのですが日程を2日間にかけて、十分な感染対策のもとで行いました。

講師には、心理学やそれに基づく言語学を活用した接遇セミナー・リーダー養成研修など、社会人、教育分野における研修・講演に携わつておられる、株式会社マンス・リソースの星野恵子氏に

来訪いただき、私たちのごく身近に起きうるハラスメントについて講義をしていただきました。

誰でも起こりえる受け手の思いを

講義は、主にロールプレイング方式で行われ、参加者全員が発言し、自分の思いを伝えられる良

ハラスメントとは「身体的、精神的、性的、経済的損害を引き起こす許容できない行為や慣行、その脅威」として定義され、業務の適正範囲を越え、精神的・肉体的に苦痛をあたえ、個々の職員の人格や尊厳を侵害する言動をいいます。

い雰囲気で行われまし

「ハラスメント?そんなつもりがないのに…」を題材にあらゆる場面を想定し、上司・部下の両方を自分が演じることで双方の感情が分かり、無意識のうちに、ハラスメントに近い状態になつてしまふ場合があることに

お互いの人格を尊重し、思いやりをもつて

ハラスメント学習会

気づかされました。またハラスメントには威圧的、批判的な行為のみでなく、極端な過保護、

「互いを尊重し合い、ハラスメントが発生しない職場作り」を策定して

全体の取り組みを、今後法人



分の思いだけでなく、受け手の思いを考えた言動を心掛け、コミュニケーションエラーを防ぐことも、ハラスメントをなくす大きな要因となります。

社会福祉法人ひまわり会

福祉用具事業所職員募集

〈勤務地〉 堺市西区鳳南町5丁 (耳原鳳クリニックの前)

〈勤務日時〉 月曜日～土曜日のうちの5日間で、8時45分～17時30分 (応相談)

〈募集資格〉 自動車運転免許のみ。専門職資格・経験不問

〈仕事内容〉 福祉用具レンタル・販売・住宅改修に関する利用者や事業所への営業・マネジメント・事務手続き等全般

*入職後、講習受講していただき、「福祉用具専門相談員」を取得していただきます

〈募集期間〉 12月1日(木)～2023年2月28日(火)まで

●問い合わせ先●
社会福祉法人ひまわり会 担当: 太田斉子
(mail) ota-t@himawarikai-or.jp
(電話) 080-2440-3758

理事会報告

10月理事会 (概要)

開催日時: 10月27日(木) 午後6時～8時15分

出席: 理事 25名
監事 3名

〈主な内容〉

- ◆報告
 - 拡大常任理事会、各種委員会概要
 - 健康友の会みみはら
- ◆協議確認事項
 - 臨時評議員会で配布する資料の確認

ら、社保・平和のとりくみ
・無料低額診療の各事業所実績
・2022年9月度決算概要
・新型コロナウイルス感染症の対応について
・鳳クリニック建替えの進捗報告および土地購入の報告

全ての職員が尊重し合う職場作りを